

薬学実習 2(創剤学実習)

責任者・コーディネーター	創剤学分野 佐塚 泰之 教授		
担当講座・学科(分野)	創剤学分野		
対象学年	3	区分・時間数	実習 18 時間
期 間	後期		

・教育成果（アウトカム）

本実習では、製剤、主として固形剤の製造及び評価に関する創剤学及び日本薬局方に記載されている製剤試験法の習得すること及び新たなドラッグキャリアであるナノキャリアの調製と評価することで、薬剤師として習得すべき医薬品の製造、評価、創成の基礎形成が可能になる。

(ディプロマ・ポリシー：2,7,8)

・到達目標（SBO）

1. 製剤化の単位操作、汎用される製剤機械および代表的な製剤の具体的な製造工程について説明できる(870)。
2. 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる(872)。
3. コントロールドリリースの概要と意義について説明できる(876)。
4. 投与部位ごとに、代表的なターゲティング技術を列挙し、その特性について説明できる(880)。

・講義日程 (矢) 東 401 4-A 実習室、(矢) 東 402 4-B 実習室、(矢) 東 403 4-C 実習室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/1	水	3・4	創剤学分野	佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教	粘着性試験及び乳剤の型の判定 1. 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。 2. パップ剤及びテープ剤の粘着力をボールタック試験にて測定できる。 3. 乳剤の型を色素法により判定できる。 4. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。 【PBL】 事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。 事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。
9/2	木	3・4	創剤学分野	佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教	ふるい分け法による粉体の粒度分布測定 1. 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。

					<p>2. 錠剤等の製剤を調製する際の粉体の粒子径をふるい分け法により測定できる。</p> <p>3. 沈降法でのデータをもとにストークスの式を用いて平均粒子径を算出できる。</p> <p>4. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。</p> <p>【PBL】</p> <p>事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。</p> <p>事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。</p>
9/3	金	3・4	創剤学分野	<p>佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教</p>	<p>錠剤の調製とコーティング</p> <p>1. 製剤化の単位操作、汎用される製剤機械および代表的な製剤の具体的な製造工程について説明できる。</p> <p>2. コントロールリリースの概要と意義について説明できる。</p> <p>3. 単発打錠機を用いて錠剤を調製できる。</p> <p>4. 打錠の際に添加する製剤添加物の種類と目的を述べるができる。</p> <p>5. 錠剤にコーティングを施すことができる。</p> <p>6. コーティングの意義を説明できる。</p> <p>7. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。</p> <p>【PBL】</p> <p>事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。</p> <p>事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。</p>
9/7	火	3・4	創剤学分野	<p>佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教</p>	<p>製剤試験法（崩壊試験、等）</p> <p>1. 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。</p> <p>2. 崩壊試験機を用いて錠剤の崩壊試験が実施できる。</p> <p>3. 各錠剤が第 17 改正日本薬局方に適合しているか否かを判断できる。</p> <p>4. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。</p> <p>【PBL】</p> <p>事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。</p> <p>事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。</p>

9/8	水	3・4	創剤学分野	佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教	<p>製剤試験法（溶出試験、等）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。 2. 溶出試験機を用いて製剤の溶出試験が実施できる。 3. 各製剤が第 17 改正日本薬局方に適合しているか否かを判断できる。 4. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。 <p>【PBL】</p> <p>事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。 事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。</p>
9/9	木	3・4	創剤学分野	佐塚 泰之 教授 杉山 育美 助教 松尾 泰佑 助教	<p>ナノキャリア（リポソーム）調製と偏光顕微鏡による観察</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 投与部位ごとに、代表的なターゲティング技術を列挙し、その特性について説明できる。 2. 卵黄より DDS キャリアであるリポソームが調製できる。 3. 偏光顕微鏡下でマルタの十字を観察することにより、調製したリポソームを判定できる。 4. 得られた実験データをもとにテキスト記載の課題について討論・考察する。 <p>【PBL】</p> <p>事前学習：テキストの該当ページを熟読し、目的、方法までレポートを作成する。 事後学習：実験結果及び PBL をもとにレポートを作成する。</p>

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	創剤学実習書 2021	創剤学分野	創剤学分野	2021
参	薬局方試験法：概要と演習 第 9 版	伊藤清美 他	廣川書店	2011
参	基礎から学ぶ 製剤化のサイエンス 第 3 版	山本恵司、監修	エルゼビアジャパン	2016
参	ベーシック薬学教科書シリーズ 20 「薬剤学」（第 2 版）	北河 修治 編	化学同人	2012
参	第 18 改正日本薬局方解説書（学生版）	柴崎正勝 他監修	廣川書店	2021

・成績評価方法

実習態度(30%)、レポート(70%)等から総合的に評価する。

・特記事項・その他

事前学習は、創剤学 1、創剤学 2 の内容を理解しておくとともに実習書の該当項目を熟読しておくこととし、各回最低 1 時間以上を要する。実習終了後は、得られたデータ及び計算値から考察し、レポートを作成することとし、各回最低 2 時間を要する。
 実習室には実習シューズ、白衣着用で入室し、実習書、筆記用具、電卓以外の荷物は持ち込まないこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	レーザーゼータ電位計 (Sysmex、Nano-ZS)	1	リポソームの物性評価
実習	分光光度計 (島津製作所、UVmini1240)	6	溶出試験の定量
実習	超音波洗浄器 (島津製作所、US-106)	2	リポソーム調製の際の分散
実習	溶出試験装置 (富山産業、NTR-3000)	6	顆粒剤の溶出試験
実習	崩壊試験装置 (富山産業、NT-40HS)	6	錠剤の崩壊試験
実習	冷却水循環装置 (EYELA、CCA-1113)	8	リポソーム調製
実習	ロータリーエバポレーター (EYELA、ウータバス付 N-1000S-W)	8	リポソーム調製
実習	ダイヤフラムポンプ (EYELA、DTC-21)	8	リポソーム調製
実習	水浴インキュベーター (島津製作所、SBAC-11A)	8	リポソーム調製
実習	高精度電子天秤 (池本理化、220g, 0.001g 573-141-01)	10	定量
実習	精製水調製装置 (ミリポア、Elix UV10)	1	採水
実習	冷凍冷蔵庫 (三洋電機、MPR-414F)	1	試料保存
実習	乾熱滅菌器 (三洋電機、MOV-212S)	2	器具乾燥
実習	電気定温乾燥機 (151L)(ケニス、3-137-517)	5	器具乾燥
実習	ドラフトチャンバー (島津理化、CBR-Sc15-F)	6	錠剤コーティング
実習	偏光顕微鏡 (オリンパス、BX51 偏光フィルタ付)	1	リポソームのマルターゼクロス確認
実習	手動式卓上簡易錠剤成型機 (市橋精機、HANDTAB100)	1	錠剤の調製